

- 金山ダム管理支所では、例年、かなやま湖水まつりのイベントの一つとして、金山ダム見学会を実施しています。
- 今年は、ダム見学者が移動のために排出したCO₂を、南富良野町の森林から創出されたオフセット・クレジット※を利用してカーボン・オフセットする共創ツアーを試行しました。

共創ツアーのチーム

かなやま湖太陽と森と湖の祭典実行委員会（南富良野町、南富良野まちづくり観光協会ほか）、札幌開建（空知川河川事務所、金山ダム管理支所ほか）北海道開発局ほか



➤ 金山ダム見学の様子

※南富良野町の取組

北海道のほぼ中心に位置する南富良野町では、北海道の母なる川の一水系がここから生まれる、森林地帯に囲まれた風土の中にあります。歴史的にみて林業で栄えた町です。このプロジェクトは、適切な森林整備事業を行うことで吸収されるCO₂由来のカーボンオフセット料金を、地域の持続的な森林整備事業にフィードバックすることで、さらなるCO₂吸収効果を地域の森林資源に付与します。

南富良野町HPより引用

ゼロカーボン・共創ツアーの概要

1. ダム見学（7月27日）
①13:00～14:30、②14:30～16:00
2. クレジット購入※今回の試行では、実行委員会が購入
3. 見学者への証明
例年参加者に配布している「ダムカード」にシールを貼って証明



➤ かなやま湖水まつりの様子

※オフセット・クレジット(J-VER)」とは

カーボン・オフセット等に活用が可能で、市場における流通が可能となり、金銭的な価値を持ちます。そのため、このクレジットを売却することにより、収益を上げることが可能です。管理が必要な森林を多く所有する地方自治体等にとっては、温室効果ガス削減プロジェクトの費用の全部や一部を、「オフセット・クレジット(J-VER)」の売却資金によって賄うことが可能となります。

環境省「カーボン・オフセットフォーラム」HPより引用